取付設置説明書

Panasonic

ビルトインオーブンレンジ

単相２００Ｖ	品番	（黒仕様） NE-DB800P　NE-DB800WP
		（シルバー仕様）NE-DB801P　NE-DB801WP

（注1）この製品は単相200V仕様です。取付設置の前に必ず電源電圧をご確認ください。
（注2）この製品は、後方排気方式を採用していますので、同時設置するIHクッキングヒーターは機種が限定されます。本説明書の ３ 項の「適応IHクッキングヒーター表」でご確認ください。

取付設置される方へのお願い	● 電源工事が100Vで工事されている場合、表示管に「H04」表示が出ます。必ず、電気工事ご担当者に電源工事の見直しをご依頼ください。 ● この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定された取付設置を行ってください。 ● 適応IHクッキングヒーター以外の組み合せや、設置条件を外れた設置に関しては保証できません。 ● 試運転を必ず行い、取扱説明書に従ってお客様に正しい使い方をご説明ください。 ● この説明書はＩＨクッキングヒーターとの排気筒接続完了まで保管し、設置完了後必ずお客様にお渡しください。 ● 取付設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

1　安全上のご注意　（取付設置上のご注意）必ずお守りください。

●取付設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ取付設置してください。
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠危険	「死亡や重症を負うおそれが大きい内容」です。
⚠警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

🛇	してはいけない内容です。
●	実行しなければならない内容です。

⚠危険

絶対に分解・修理・改造は行わない
火災・感電・けがの原因になります。

⚠警告

取付設置はこの「取付設置説明書」に従って確実に行う
設置に不備があると機器の損傷や、感電・火災の原因となることがあります。

電気配線工事は法令等に従って必ず「法的有資格者」が行う
工事不備があると機器の損傷や感電・火災の原因になることがあります。

アースを確実に取り付ける
アース線接続
故障や漏電の時に感電するおそれがあります。

必ず指定の電源容量以上の専用回路とする
他の器具と同時に使用したり、電気容量以下の場合異常発熱し、火災の原因となります。

⚠注意

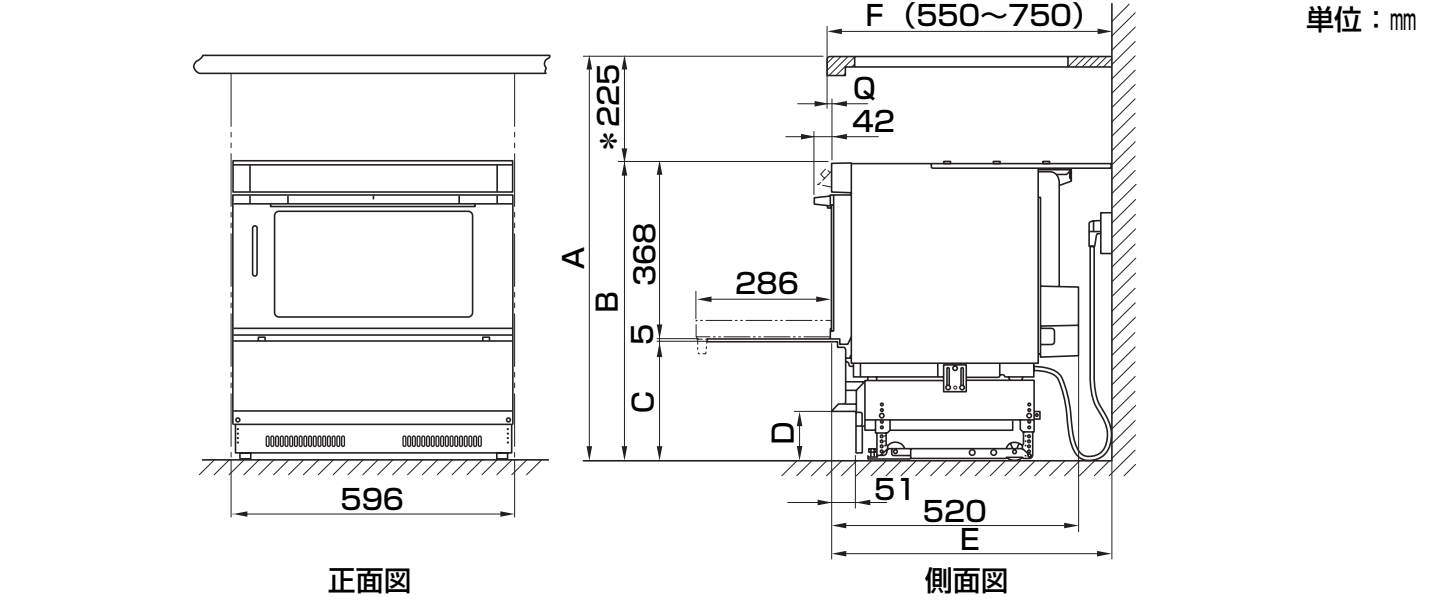
本機器に組み合わせるIHクッキングヒーターの「取付設置説明書」を確認する
IHクッキングヒーター部の設置は、IHクッキングヒーターの「取付設置説明書」に従い正しく行ってください。

試運転中は、ドア・排気口（コウシ）等高温部に触れない
接触禁止
やけどのおそれがあります。

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください

異常時には直ちに使用を中止する
以下の症状のままで使い続けることは絶対しない
●電源を入れても動作しないことがある
●運転中、異常な音がする
●本体が変形したり、異常に熱い

2　外形寸法図

単位：㎜

●各部寸法

A寸法（適応キッチン高さ）	800〜860に対応可能
B寸法（本体高さ）	575〜635調節可能
C寸法（収納フタ高さ）	202〜262調節可能
D寸法（ケ込み部高さ）	55〜115調節可能
E寸法（本体奥行き）	(F寸法) − (Q寸法) で調節可能
F寸法（適応キッチン奥行き）	550〜750に対応可能

●仕様

電源電圧	単相200V
最大消費電力	3.9kW

（注1）＊225は標準モジュール（高さ220㎜）のＩＨクッキングヒーター（ビルトインタイプ）使用の場合の寸法です。

3　適応IHクッキングヒーター表

● ビルトインオーブンレンジ NE-DB800P・NE-DB801P シリーズは、指定の当社の IH クッキングヒーター（ビルトインタイプ）との組合わせ設置専用の機器です。
（注）指定以外の組合わせ設置は、キッチンの損傷や機器の故障・異常の原因となりますので、絶対にお避けください。

■システムキッチン対応
● 色タイプ別適応機種

色区分	ビルトインオーブンレンジ	IHクッキングヒーター
黒仕様	NE-DB800Pシリーズ	商品によっては取り付け出来ない機種がありますので適用機種は、最新のカタログにてご確認ください。
シルバー仕様	NE-DB801Pシリーズ	

3　適応IHクッキングヒーター表

● キッチン高さ対応　800〜860に対応
但し、下記部材使用で、高さ900対応可能。
●ビルトイン機器台輪　【AD-F60K】⇒「部材センター」扱い
● キッチン奥行き対応　600、650、700、750に対応

■一般流し台対応

上記「トッププレート幅60cmタイプ」ＩＨクッキングヒーター（ビルトインタイプ）を使用し、下記別販部材との併用で、一般流し台に対応できます。
（注）但し、本機器及びＩＨクッキングヒーターの左右両側面露出の設置はお避けください。
また、右側面または左側面の片面露出での設置の場合は、別途ご相談ください。
● 適用機種　上記「トッププレート60cmタイプ」全機種（注.「75cmタイプ」は対応できません。）
● 組合わせに必要な別販部材
奥行き550用　据置用枠　【AD-KZ038B-55】⇒「部材センター」扱い
奥行き570用　据置用枠　【AD-KZ038B-57】⇒「部材センター」扱い
● キッチン高さ対応　800〜860に対応
● キッチン奥行き対応　上記「別販部材」使用で、550・570に対応

ご注意

この製品は、ＩＨクッキングヒーターとの排気筒接続作業を必要とするため、下記の点ご注意ください。
（注1）前パネル（別販部材）等を使用しての組合わせ設置はできません。
（注2）２項の図中「＊225」のキッチン組込み時の寸法は、225〜230mmになっていることが必要です。
（６−２項により高さ調節すると、ほぼこの高さになります。）排気筒接続作業の前に寸法をご確認のうえ、異なる場合は修正をお願い致します。

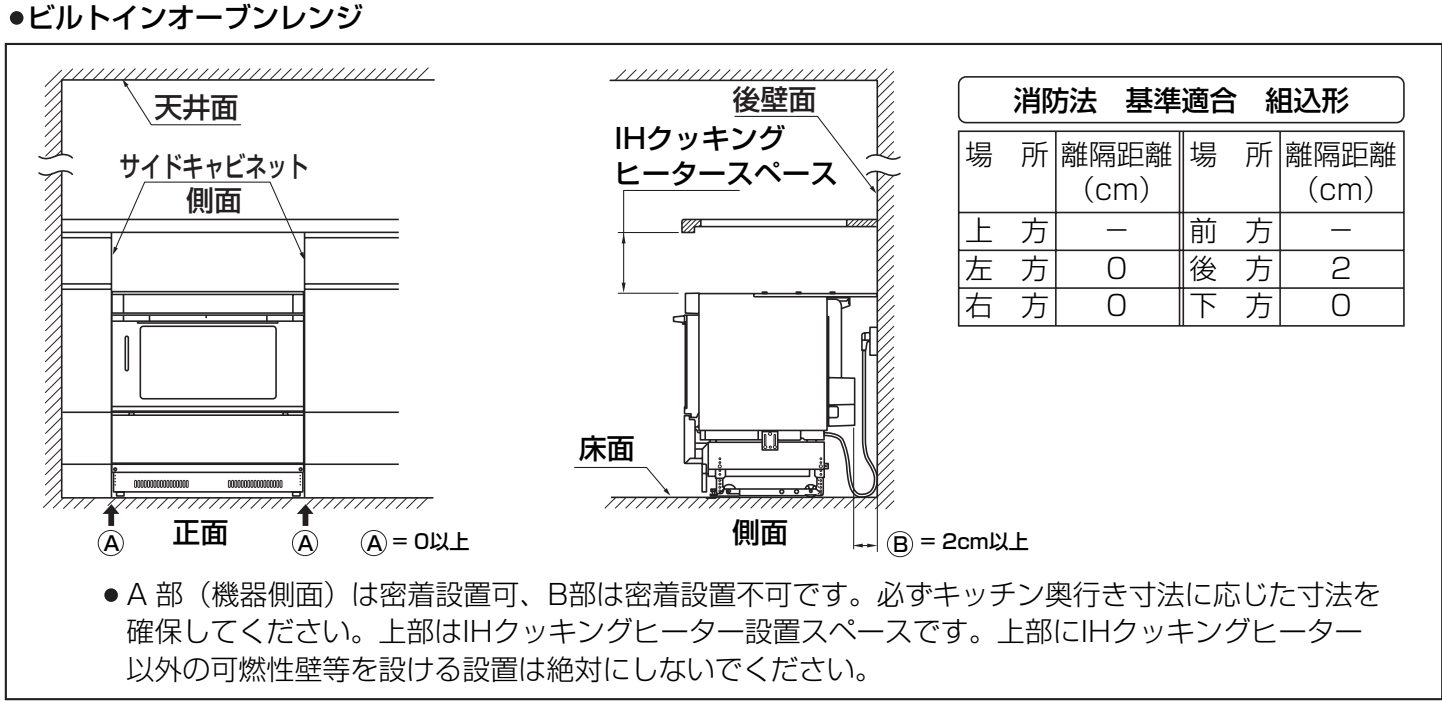
4　取付設置上のお願い

火災予防条例、電気設備技術基準182条、建築基準法などに従って設置してください。

●IHクッキングヒーター側の離隔距離については、ご使用の各IHクッキングヒーターの「取付設置説明書」に従ってください。
（注）システムキッチンに組み込むドロップインIHクッキングヒーターは、必ず指定のIHクッキングヒーターをご使用ください。
指定外のIHクッキングヒーターの場合、機器の寿命・可燃性壁の温度等保証できません。
●本機器をトールユニット等に直接組み込んでの設置は、絶対にしないでください。

■防火上の離隔距離（周囲が可燃性壁の場合）
●ビルトインオーブンレンジ

消防法　基準適合　組込形			
場　所	離隔距離 (cm)	場　所	離隔距離 (cm)
上　方	−	前　方	−
左　方	0	後　方	2
右　方	0	下　方	0

● A 部（機器側面）は密着設置可、B部は密着設置不可です。必ずキッチン奥行き寸法に応じた寸法を確保してください。上部はIHクッキングヒーター設置スペースです。上部にIHクッキングヒーター以外の可燃性壁等を設ける設置は絶対にしないでください。

お願い

● 製品の一部が、家屋の金属部（壁中のラスメタル等）や家具（システムキッチン等）の金属部と接触しないように取り付けてください。
また、接触するおそれのある場合は、絶縁テープ等で電気的に接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準59条により義務づけられています。）
● この製品を設置する台所が建築基準法に定める〔内装制限を受ける調理室〕に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

■その他、本体設置の際守っていただきたいこと。

①水平で安定した場所に設置してください。
②耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところを選んでください。
③十分換気のできるところに設置してください。
④器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすいものは置かないようにしてください。
⑤本体をタイルやモルタルで塗り込まないようにしてください。
⑥ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますのでお使いにならないでください。

設置時に隙間を確保する

ビルトインオーブンレンジのカンガルーポケットが開かない恐れがあります

設置時にIHクッキングヒーター下面と操作部上部との隙間を5mm以上確保してください。
5mm以上確保出来ていない場合は、６−２「台枠Uの高さ調節」に従って高さを調整してください。

5　電気工事及び接地工事

● IHクッキングヒーター側の電気工事は、各IHクッキングヒーターの「取付設置説明書」に従ってください。

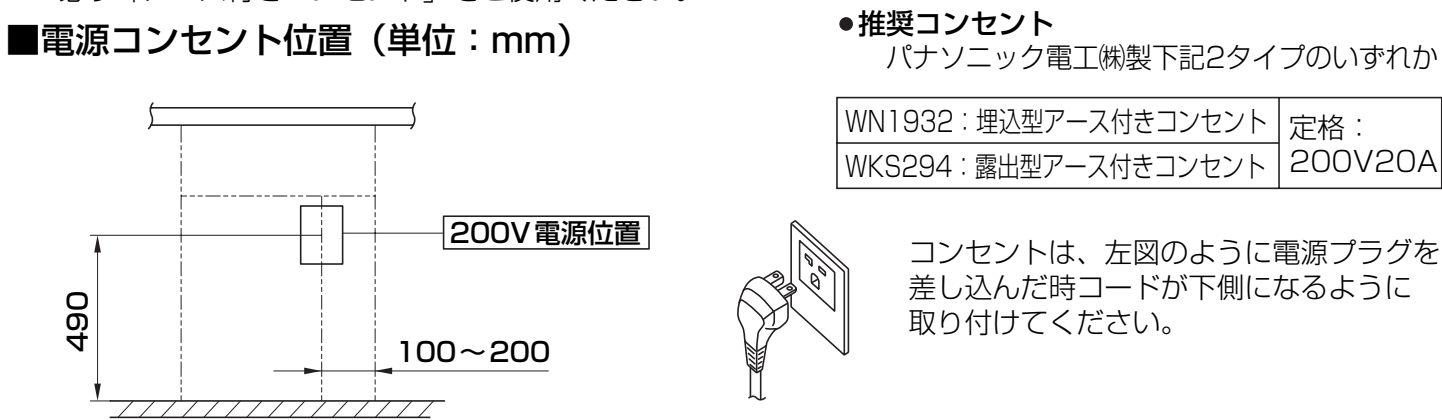
電源容量：単相200V20A以上のこと。

■電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。
■電源は必ず漏電ブレーカー付きの専用回路としてください。
■アース工事を必ず行ってください。
●必ず「アース付きコンセント」をご使用ください。

■電源コンセント位置（単位：mm）

●推奨コンセント
パナソニック電工㈱製下記2タイプのいずれか

WN1932：埋込型アース付きコンセント	定格：200V20A
WKS294：露出型アース付きコンセント	

コンセントは、左図のように電源プラグを差し込んだ時コードが下側になるように取り付けてください。

6 本体の準備・組み込み作業

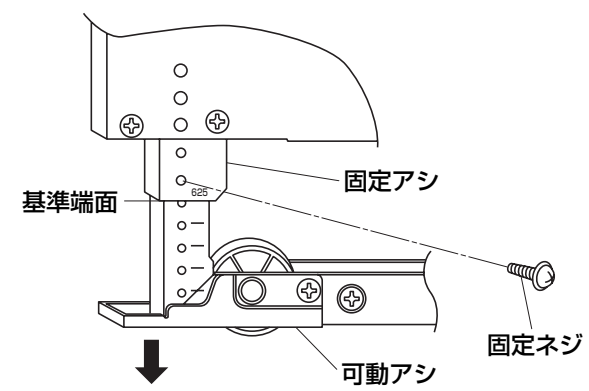
1 包装材料を取り外し、取付設置用付属部品を確認する ——— 取付設置の前に必ずご確認ください。

●NE-DB800P・NE-DB800WPシリーズには、下記の取付設置用付属部品が同梱されています。

• なお、(※1)及び(※2)、(※3)印部品は、機種の色タイプにより材質及び色が異なります。

台 枠 U	シュウノウフタU(ダンボールケース小に同梱)					排気筒
(ダンボールケース大に同梱)	シュウノウフタA	シュウノウフタB	固定ボルト(2本)	タッピングネジ		(機器本体上面にテープ貼付)
				φ4×12(2本)	φ4×8(黒)(8本)	
	(※1)	(※2)		(※3)		(ネジ装着)

● 取扱説明書、保証書等があることを確認し、取扱説明書に基づき調理用付属品がそろっていることを確認してください。

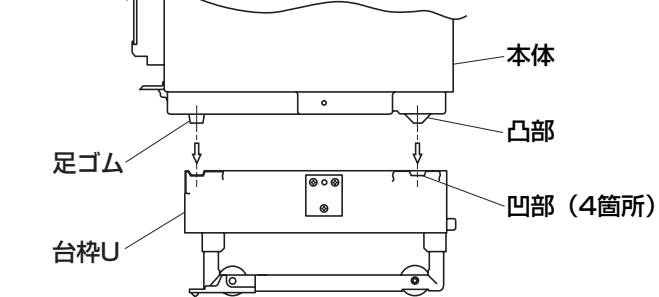
2 台枠Uの高さ調節

(1) 台枠Uの左右の可動アシ前後の固定ネジ(左右各2本)を外す。
(2) 可動アシを矢印方向に引出す。
(3) キッチン高さに応じた目盛に、固定アシ端面を合せて、外した固定ネジで固定する。

●高さ調節目盛位置

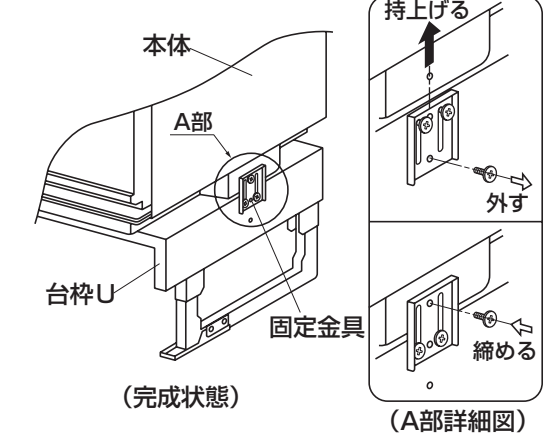
キッチン高さ		800	850	860
対応目盛	標準モジュール高さ220のIHクッキングヒーター使用の時	575	625	635

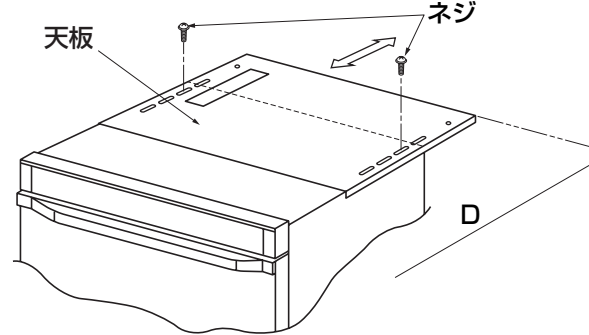
(注1) 目盛は10mm刻みです。数字刻印部分を基準に設定してください。(穴が合うところで締付ける)
(注2) 固定アシ側の5ヶ所の穴を使用し、上下に調整すると約2mm単位で、微調整出来ます。

3 本体と台枠の固定

1.本体を台枠に乗せる

台枠上面の4箇所の凹部に、本体下面の足ゴム及び底板の凸部を、はめ込んで設定する。

2.本体と台枠Uを固定する(左右)

本体 A部 台枠U 固定金具 (完成状態) 持上げる 外す 締める (A部詳細図)

(1) 台枠U両側面に設けた固定金具の上側2本のネジをゆるめる。
(2) 固定金具下側のネジを外し、矢印方向に上へ持上げる。
(3) 外したネジで、固定金具の上側のネジ穴にネジを止める。
(4) ゆるめた2本のネジをそれぞれ締める。

4 天板の調節(本体の奥行き寸法の調節)

機器本体上面に設けた「天板」後部のネジ(2本)を外し、天板を後方にスライドさせ、キッチンのフロアキャビネットの奥行き寸法と同じ寸法(D)となるように長穴部で調節し、ネジで固定する。
なお、D寸法は「外形寸法図」の項のE寸法と同じです。

5 本体をキッチンに組込む

あらかじめ電源を接続した後、後壁に天板が当るまで押し込む。
● この時、本体前面とキッチン扉前面がほぼ同一となるかを確認してください。
● 面が不揃いの場合は、本体を引出して、再度天板を微調整してください。

(注1) キッチンへの組込みの際は、床面への傷防止のためダンボール等を敷いて行ってください。
(注2) 本作業の段階では、床面への傷防止のため、6 項の固定ボルトの取付け(仮装着も含む)はしないでください。
(注3) 本体下部に設けたキャスターは、キッチンへの組込み、及び引出すためのものです。本体の移動には使用しないでください。

6 固定ボルトで床面に固定

台枠Uの可動アシ前部に固定ボルトをねじ込み、固定ボルトの先端が床面にくい込むように固定ボルトを締め付けて、本体を床面に固定する。
● 固定ボルト締め付けの目安(Ⓐ の目安)
多少くい込ませた状態で、機器本体を前後に力を加えた時、本体が床面を動かない程度とし、動くようであればさらに締めこんでください。

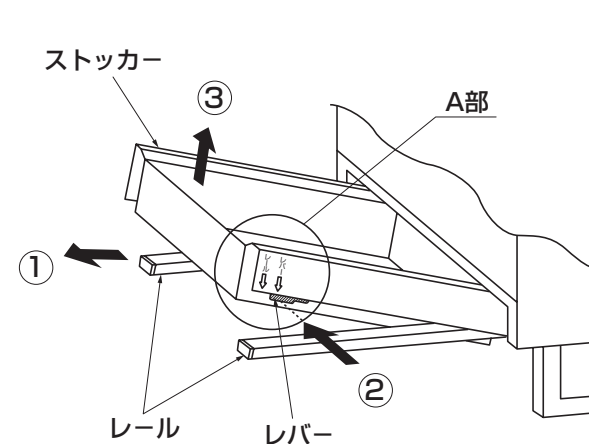
(注) 固定ボルト締め付け後、種々の理由で本体を抜き出す場合は、必ず固定ボルトを外してから行ってください。
固定ボルトをゆるめるだけでは、床面に傷をつける恐れがあります。

⚠注意

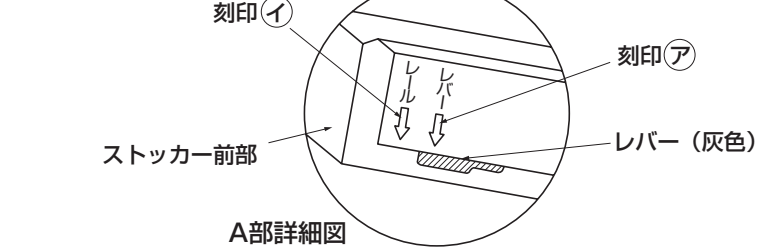
■床面を傷つける恐れあり

本体を引き出す時は固定ボルト2本を必ず外してください。

7 オーブン付属品ストッカーの組立・組込み

1.台枠Uより、ストッカー(棚部)を抜き出す

① ストッカー(棚部)をいっぱいまで引き出す。
② 棚部の両側下部にあるレバー(灰色)を内側に押しながら
③ 棚部を上に持ち上げる(レール部より外れ、棚部が取り出せます。)

〈要領〉刻印 ㋐(レバー⇨)部に指を置き、指先でその奥に設けた灰色のレバーを押して棚を持ち上げます。(拡大図参照)

A部詳細図

2.シュウノウフタAにシュウノウフタBを取り付ける

シュウノウフタBをシュウノウフタAに差込み、シュウノウフタBを同梱のネジ(φ4×12ネジ)で締付けて固定する。

(注1) シュウノウフタA側は長穴ですが、差込側に押付けて固定してください。
(注2) 本作業は仮固定とし、5) 項で調整後再度固定します。

〈使用ネジ孔〉 キッチン高さ800の時：一番下の孔を使用
キッチン高さ850の時：下から6番目の孔を使用

3.ストッカー(棚部)にシュウノウフタAU(組立品)を取り付ける

●左図のように、床面等に置いたシュウノウフタAの上にストッカーを立てて置き、同梱のネジ(φ4×8黒ネジ)を締付けて固定する。(左右各4本/合計8本)
● 基準穴①、②の順番で締付けた後、左右のa、b、cを順不同で合計8本を締付けて固定してください。

4.収納ストッカーを台枠Uに装着する

① 左右のレールをいっぱいまで引き出す
② ストッカーを両側のレールに載せる
③ カチッと音がするまでゆっくり押し込む
④ 再度ストッカーを引き出す
⑤ 強くしめる

●以上で装着終了ですが、正常装着状態であることを下記に従いご確認ください。

〈装着後の確認〉

(1) ストッカーを引き出して、シュウノウフタ部分を上に持ち上げて、レールより外れないこと。(レールより外れる場合は、再度強くしめて再確認して下さい。)
● 別の確認方法: レール先端の樹脂キャップ(白色)がA部詳細図の刻印 ㋑ の矢印の位置にあれば正常です。
(2) ストッカーがスムースに開閉すること。

5.シュウノウフタB調整・確認

(1) ストッカーを閉じた時、床面とのすきまが約「15mm」となるように、上記2) 項で締めたネジをゆるめて調整の上、締め直してください。
(2) ストッカーを開いた時、床面とのすきまが約「10mm」あることを確認ください。

以上でビルトインオーブンレンジの設置はひとまず終了です。
次に、IHクッキングヒーターの設置を行います。

7 IHクッキングヒーターの組み込み作業

■IHクッキングヒーターの「取付設置説明書」に従ってください。

(注1) IHクッキングヒーターと、ビルトインオーブンレンジの設置の順序は、どちらが先でも構いません。
●接続口カバーを必らず外してください。(詳細はIHクッキングヒーターの取付設置説明書をご覧ください)
(注2) IHクッキングヒーターの設置後、ビルトインオーブンレンジのカンガルーポケットの開閉がスムーズかご確認ください。スムーズに開閉出来ない場合は、6 − 2 「台枠Uの高さ調節」に従って高さを調整してください。

8 排気筒接続作業 (IHクッキングヒーターとオーブンレンジとの接続)

1 作業前の確認

●IHクッキングヒーターとビルトインオーブンレンジの前面部が、同一面に揃っていることをご確認ください。
(注) 双方の機器の前面が不揃いの場合、「排気筒」の接続がうまくできない場合があります。

2 排気筒接続手順

1.IHクッキングヒーターの排気パネル(左側)を外す
2. 排気筒の装着

●図のように排気筒は、刻印「上」を上側で手前側とし、排気孔の右面をガイドにして、固定用フランジが排気孔後壁に設けたネジ取付座に当るまで差込む。(差込んだ時、排気筒上端が排気孔周囲面とほぼ同一面まで下がるとOKです)
(注) 但し、接続される排気筒下部のビルトインオーブンレンジの排気口部には下図のようにクッションゴムを設けているため、差込んだ手を離すと多少浮きますが問題ありません。

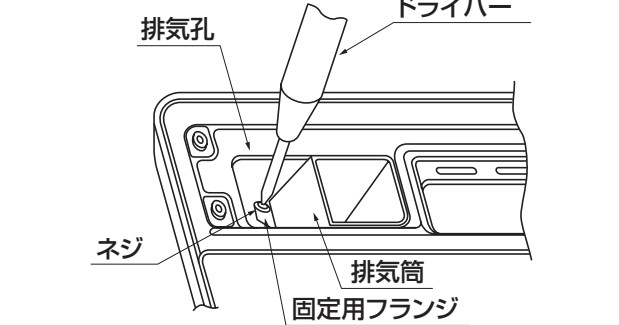
正常差込状態図(排気筒下端部)

3. 排気筒を固定する

排気孔 ドライバー ネジ 排気筒 固定用フランジ

(お願い)

排気筒が下まで十分下がりきらない場合は、「排気孔」よりのぞき込み下端部が「排気口」上端部に乗り上げてないか確認してください。

●排気孔より覗き込みながら固定用フランジに装着されたネジを締め、排気筒を固定する。

4. IHクッキングヒーターの排気パネルを装着する

●1) で外した「排気パネル」を装着する。

一般流し台対応の場合

●ビルトインオーブンレンジの取付設置・手順は、本取付設置説明書と全く同じです。
●IHクッキングヒーターは、必ず「据置枠」を使用し、まず「据置枠」をビルトインオーブンレンジの上面にネジ止めにて固定の後、クッキングヒーターを組み込み、8 項の「排気筒接続作業」を必ず確実に行ってください。
(注)「据置枠」へのIHクッキングヒーターの組み込みは、「据置枠」の「取付設置説明書」に従ってください。

9 取付設置完了後の確認

取扱説明書に従い、取付設置状態の確認と試運転を行ってください。

●お願い

試運転の前に、オーブン庫内へ同梱の調理用付属品は、必ず全て出してください。

確認して頂きたい項目	確認の判定	チェック
(1) 電源は200Vとなっているか (注1)	「H04」表示が出ない	
(2) 排気筒は確実に設置されているか (注2)	ロースターの排気カバーの浮きがない	
(3) 収納棚は確実にセットされているか (注3)	ドア面と同面までスムースに閉まる	
(4) 収納棚はスムースに動作するか (注3)	スムースに動作する	
(5) 調理用付属品が揃っているか	そろっている	
(6) 傷・打こん・キッチン扉前面との面揃い	傷・打こん無く、ほぼ同面に揃っている	
(7) 表示管等の点灯確認 (注4)	正常に点灯する	
(8) 電子レンジの動作確認(コップに水を入れ、約1分程運転する)	水があたたまる	
(9) オーブン動作の確認(オーブン動作で約1分程運転)	庫内が温かくなる	
(10) カンガルーポケットはスムーズに動作するか	スムーズに動作する	

(注1)「H04」表示が出たら、電源が100Vで工事されています。必ず、電気工事担当者に、電源工事の見直しをご依頼ください。
●なお、「H04」表示は誤使用防止のため消えません。消す場合は、専用のブレーカーを切ってください。
(注2) IHクッキングヒーターと本機器とを接続する「排気筒」が確実に設置されていないと、キッチンの損傷や機器の故障・異常の原因となります。必ずご確認のうえ、不備の場合は修正ください。
(注3) 収納棚が確実にセットされていませんと、閉めたとき前面が不揃いになると共に、収納棚をあけた状態でオーブンの扉を開いたとき指を詰め危険です。必ず取付設置説明書に基づき、装着後の確認を行い正常であることをご確認ください。
(注4) 表示管は電源投入後「0」表示が出ますが、ドアーを閉じた状態で約10分間放置すると消えます(未表示状態)が、ドアーを開閉すると「0」表示に戻ります。この操作でのドア開では庫内灯は点灯しません。(電源自動OFF機能採用のため)

パナソニック株式会社 電子レンジビジネスユニット
〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町800

A0313-1U60
F0808-0